明るさの測定方法を変更する（測光）

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。顔キレイナビが **ON** のときは、**測光**は設定できません。

■ マルチ

シーン自動認識により、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、**マルチ**をおすすめします。

■ スポット

画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
スポット測光時には、測光したい被写体を画面中央に配置して撮影してください。

■ アベレージ

画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

ピントを合わせるエリアを変える（AF モード）

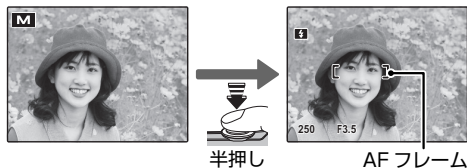
ピント合わせのエリアを変更できます。ただし、マクロ撮影時は、ピントは常に中央付近に固定されます。

■ センター固定

画面中央にある被写体にピントを合わせます。AF/AE ロック撮影（→ 41 ページ）と併用すると、より効果的です。

■ オートエリア

シャッターボタンを半押しすると、液晶モニター中央付近にあるコントラストが高い被写体を自動認識して、その被写体にピントを合わせます。

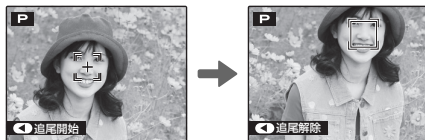
半押し
AF フレーム

■ コンティニュアス

動きのある被写体の撮影に適しています。+マーク付近の動いている被写体にピントを合わせ続けます。

チェック

- **コンティニュアス**では、シャッターボタンを押していなくても、常にピントを合わせ続けるため、次のような現象が起こります。また、バッテリー残量にご注意ください。
  - レンズの駆動音がします。
  - バッテリーの消耗が早くなります。

■ 自動追尾

自動追尾に設定すると、画面中央に図のような枠が表示されます。まずピントを合わせたい被写体にその枠を合わせます。次に ◀ ボタンを押して**追尾開始**を設定します。すると被写体の動きに合わせて枠が移動しピントを合わせ続けます。

チェック

- 撮影シーンによっては**自動追尾**できないことがあります。

顔と個人情報を登録する（個人認識）

個人認識情報を登録すると、登録した人の顔に優先的にピントや露出を合わせて撮影したり、再生時に登録した内容（名前や誕生日など）を表示したりできます。

個人認識を ON にする

1 撮影メニューから **個人認識**を選びます。
個人認識設定画面が表示されます。

2 **個人認識**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

4 **ON** を選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
登録ができるようになります。